

全測連
設計 CPD ガイドライン
(第 4.1 版)

2024 年 7 月 1 日

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会

目次

1. 設計 CPD とは.....	1
(1) 目的.....	1
(2) CPD 制度のメリット.....	1
(3) 設計 CPD の全体像.....	1
(4) 設計 CPD の特徴.....	2
(5) 対象者.....	2
2. 設計 CPD と測量系 CPD、建設系 CPD	2
3. 学習プログラム（講習会等）の認定.....	3
(1) 主催者の申請.....	3
(2) 学習プログラムの申請.....	3
4. 学習履歴の管理.....	4
(1) 法人会員と個人会員.....	4
(2) 法人会員の登録.....	4
(3) 個人会員の登録.....	4
(4) 学習履歴の申請（CPD ポイントの申請）.....	5
(5) 学習履歴証明書の発行.....	5
5. CPD ポイント.....	6
(1) 学習形態と CPD ポイント.....	6
(2) 推奨する CPD 単位.....	6
6. 費用.....	6
(1) 費用の種類.....	6
(2) 費用の振込先.....	6
7. 個人情報保護.....	7
8. その他.....	7
(1) 注意事項.....	7
(2) 問い合わせ先.....	7
別紙 1 対象とする学習分野.....	1
別紙 2 学習形態と CPD ポイント.....	3
別紙 3 設計 CPD の費用.....	4
様式 1 受講証明書.....	5
様式 2 講師・助手実施証明書.....	6
様式 3 受講証明書（法人）.....	7
様式 4 受講証明書（個人）.....	11

はじめに

技術者は自らの技術力の維持向上を図り、常に最高の技術サービスを提供する使命を有しています。測量技術者や建設コンサルタントが、各種資格を有しつつ継続的な自己研鑽や実績の蓄積を客観的にクライアントや国民に示すことは、公共事業のアカウンタビリティの向上策として重要です。

欧米諸国では、早い段階から技術者の継続教育（CPD：Continuing Professional Development。以下「CPD」という。）の重要性を認識し、技術者個人の資質向上の実績を登録・蓄積する制度を運用しています。

公共事業では、発注時の総合評価落札方式等において、技術者の CPD（継続教育）の実施が評価項目として採用されるなど、受注者側にとっても公共事業の変化に対応した新しい技術や知識の取得、技術水準の維持・向上に努めることが求められるようになってきました。

このような状況を勘案し、（一社）全国測量設計業協会連合会（以下「全測連」という。）では、2010年6月に CPD 制度を創設し「設計 CPD」として運用しています。設計 CPD は、全測連の構成会員に限らず、広く測量業務や建設コンサルタント業務に携わる方々に利用いただける Web サービスです。

本ガイドラインは、設計 CPD の概要、関係する CPD 認定団体、申請手続き、費用、利用方法等について紹介するものです。

1. 設計 CPD とは

(1) 目的

全測連や都道府県測量設計協会等が主催する講習会、測量系 CPD 協議会や建設系 CPD 協議会が認定した講習会やセミナー等の学習プログラムを通じて、技術者の自己研鑽と各自の技術水準の維持・向上に資することを目的とします。

(2) CPD 制度のメリット

近年、CPD 制度は行政機関などにおいて積極的に活用されています。国土交通省の入札制度では、技術力と価格で評価する総合評価落札方式が定着し、技術力選定の評価項目に CPD が採用されています。「経営事項審査の事務取扱いについて（通知）」（令和 3 年 4 月 1 日）では、経営事項審査の項目に CPD 単位が加えられました。地方公共団体においても、CPD を技術力の評価項目に採用することが拡大する方向にあります。

CPD 単位の取得は、個人のスキルアップやキャリアアップに有効であり、企業においては持ち点が高くなり受注機会の向上に繋がります。

(3) 設計 CPD の全体像

設計 CPD は、測量と建設コンサルタントの 2 つの技術分野を対象としています。ここでは、講習会等の主催者が利用する「学習プログラムの認定」と、学習プログラムを受講した技術者が利用する「受講履歴の管理（CPD ポイントの記録）」の 2 つのサービスを提供しています。

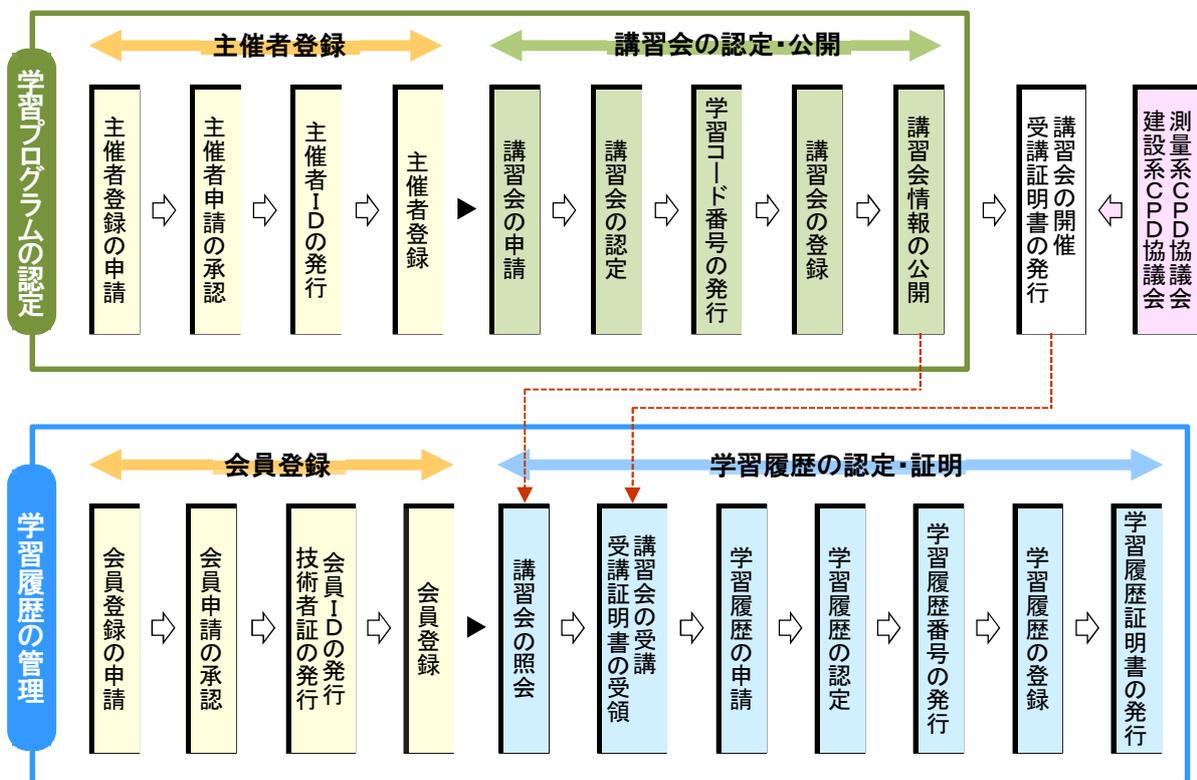


図 設計 CPD の全体像

(4) 設計 CPD の特徴

設計 CPD の特徴は、以下のとおりです。

- ① 「測量」「建設コンサルタント」の2つの技術分野を対象としています。
- ② 受講履歴の申請（CPD ポイントの申請）や学習履歴証明書の発行が無料であり、ほぼ年会費のみで学習履歴の管理が行えます。
- ③ 建設系 CPD 協議会に加盟し「相互協力協定」を結んでいるため、加盟団体が認定した学習プログラムを共有できます。
- ④ 測量系 CPD 協議会や建設系 CPD 協議会が認定した学習プログラムであれば、当該学習プログラムの CPD ポイントが登録できます。
- ⑤ 建設業法第二十七条の二十三第三項の「経営事項審査の項目及び基準」において、CPD 認定団体として認められています。

(5) 対象者

「学習プログラムの認定」を利用する講習会等の主催者は、測量業務または建設コンサルタント業務に係る法人であれば、どんな団体（行政機関や教育・研修機関を含む）でも申請できます。

また「受講履歴の管理（CPD ポイントの記録）」を利用する会員（法人、個人）は、全測連の構成会員に限らずどなたでも加入できます。

2. 設計 CPD と測量系 CPD、建設系 CPD

CPD 制度は、すでに多様な認定団体で運用されています。測量分野では「測量系 CPD 協議会」に加盟する団体（19 団体）が主に運用しており「測量 CPD」と称しています。一方、建設コンサルタント分野では「建設系 CPD 協議会」に加盟する団体（19 団体）が主に主催しています。

全測連は、測量系 CPD 協議会と建設系 CPD 協議会の2つの団体に加盟しています。他団体の CPD と区別するために「設計 CPD」と称しています。

表 測量系 CPD 協議会の加盟団体

No.	構成団体	No.	構成団体
1	(公社) 日本測量協会	11	(一社) 地理情報システム学会
2	(公財) 日本測量調査技術協会	12	日本地図学会
3	(一財) 日本地図センター	13	(一社) 日本リモートセンシング学会
4	(一財) 測量専門教育センター	14	(一社) 日本国土調査測量協会
5	(一社) 地図調製技術協会	15	(一社) 三重県測量設計業協会
6	日本土地家屋調査士会連合会	16	(一社) 大阪府測量設計業協会
7	(一財) 日本建設情報総合センター	17	GITA-JAPAN
8	(一社) 全国測量設計業協会連合会	18	NPO 法人全国G空間情報技術研究会
9	日本測地学会	19	(公社) 全国国土調査協会
10	(一社) 日本写真測量学会		

(2024年4月現在)

表 建設系 CPD 協議会の加盟団体

No.	構成団体	No.	構成団体
1	(公社) 空気調和・衛生工学会	11	土質・地質技術者生涯学習協議会
2	(一財) 建設業振興基金	12	(公社) 土木学会
3	(一社) 建設コンサルタンツ協会	13	(一社) 日本環境アセスメント協会
4	(一社) 交通工学研究会	14	(公社) 日本技術士会
5	(公社) 地盤工学会	15	(公社) 日本建築士会連合会
6	(公社) 森林・自然環境技術教育研究センター	16	(公社) 日本コンクリート工学会
7	(公社) 全国上下水道コンサルタント協会	17	(公社) 日本造園学会
8	(一社) 全国測量設計業協会連合会	18	(公社) 日本都市計画学会
9	(一社) 全国土木施工管理技士会連合会	19	(公社) 農業農村工学会
10	(一社) 全日本建設技術協会		

(2024 年 4 月現在)

3. 学習プログラム（講習会等）の認定

(1) 主催者の申請

講習会等（講習会、研修会、論文発表、研究発表、技術指導、委員会活動など）の学習プログラムを申請するには「主催者申請」が必要です。

- 主催者申請は、「設計 CPD」のバナーから「初めての方」→「講習会主催者を申請する」から行います。
- 主催者申請が完了すると「主催者 ID・パスワード」が通知されます。主催者申請は、測量業務または建設コンサルタント業務に係る法人であれば、どんな団体でも行えます。

(2) 学習プログラムの申請

学習プログラムの申請は、主催者が開催する講習会等について設計 CPD の認定（学習コード番号）を取得するものです。

- 学習プログラムの申請は、「設計 CPD」のバナーから「講習会主催者ログイン」で主催者 ID・パスワードを入力して行います。
- 「講習会申請」から、講習会に必要な情報を入力するとともに関係資料（リーフレット、プログラム、申込書など）を添付します。講習会の学習分野は「別紙 1 対象とする学習分野」のとおりです。
 - ✓ 添付するプログラムは「学習形態、学習内容、学習時間、休憩時間等」が分かるものを添付してください。
 - ✓ 学習分野が複数ある場合は、主たるものを 1 つ選択してください。
- 講習会申請が完了すると「講習会登録の案内、受付番号（KT0000xxxx）、請求書」が通知されます。手数料の振り込みは、講習会開催日の 1 週間前までをお願いします。
- 学習プログラムの認定が完了すると「講習会認定通知」として講習会登録情報（登録番号、学習コード番号、ポイント数、講習会名など）が通知されます。

4. 学習履歴の管理

(1) 法人会員と個人会員

学習履歴の管理を利用するには「法人会員・社員会員」または「個人会員」が必要です。

- 「法人会員」は、①社員会員の申請、②社員会員の加入状況、③会社単位での学習履歴証明書の発行、④認定講習会の照会などの機能が利用でき、年会費も一括で入金できます。複数の社員が設計CPDに加入される場合は、法人会員で加入されることをお勧めします。
- 「個人会員」は、所属する法人とは別に、個人で学習履歴を申請・管理するものです。個人で加入するための制限はありません。
- 会員登録を行う場合、全測連の構成会員（都道府県測協の会員）と非会員では年会費（「別紙3 設計CPDの費用」を参照）が異なります。法人会員・個人会員の違いに限らず、事前にご自分の会社の会員区分を確認してください。

(2) 法人会員の登録

1) 法人会員の加入申請

- 法人会員の加入申請は、「設計CPD」のバナーから「初めての方」→「法人加入者を申請する」から行います。
- 当該企業に係る情報を入力して申請します。申請が完了すると「法人加入申請 受付のご案内、請求書（年会費）」が通知されます。
- 年会費の入金を確認後、会員登録を行います。会員登録が完了すると、「法人会員ID・パスワード」が通知されます。
- 法人会員申請は、測量業務または建設コンサルタント業務に係る法人であれば、どんな団体でも行えます。

2) 社員会員の加入申請

- 社員会員の申請は、「設計CPD」のバナーから「法人加入者ログイン」で法人会員ID・パスワードを入力して行います。
- 「社員加入者申請」から社員情報を入力します。社員会員には技術者証を発行するため、本人の顔写真が必要となりますので事前に写真データ（jpg）を用意してください。
- 複数の社員を登録する場合は、「続けて社員加入申請する」をクリックし、社員登録を終了する場合は「メニューに戻る」をクリックします。
- 申請が完了すると、当該社員宛に「社員加入申請 受付のご案内」により、社員情報、受付番号、請求書（年会費・技術者証発行手数料）が通知されます。
- 年会費・技術者証発行手数料の入金を確認後、会員登録を行います。会員登録が完了すると、当該社員宛に「社員会員ID・パスワード」が通知されます。技術者証については、設計CPD事務局より発送します。

(3) 個人会員の登録

- 個人会員の加入申請は、「設計CPD」のバナーから「初めての方」→「個人加入者を申請

する」から行います。

- 個人加入者の申請に必要な情報を入力して申請します。加入者には技術者証を発行するため、本人の顔写真が必要となりますので事前に写真データ（jpg）を用意してください。
- 申請が完了すると「個人加入申請 受付のご案内」により、会員情報、受付番号、請求書（年会費・技術者証発行手数料）が通知されます。
- 年会費・技術者証発行手数料の入金を確認後、会員登録を行います。会員登録が完了すると、「個人会員 ID・パスワード」が通知されます。技術者証については、設計 CPD 事務局より発送します。
- 個人会員の申請は、全測連の構成会員に限らずどなたでも行えます。

(4) 学習履歴の申請（CPD ポイントの申請）

- 学習履歴の申請は、「設計 CPD」のバナーから「個人加入者ログイン」で個人会員 ID・パスワードを入力して行います。
- 「単位申請」から申請に必要な情報を入力します。申請には添付資料（PDF）として受講証明書（または講師実施証明書）、講習会プログラムが必要になりますので、事前に用意してください。
- 申請が完了すると「設計 CPD ポイント申請のご案内」が通知されます。
- 学習履歴の登録が完了すると「学習履歴認定通知」が通知されます。

(5) 学習履歴証明書の発行

学習履歴証明書は、会員（法人会員、社員会員、個人会員）の学習履歴と取得した CPD ポイントを証明するものです。

1) 法人単位の学習履歴証明書

- 法人会員の場合は、対象とする期間を指定して法人全体の学習履歴と取得した CPD ポイントの証明書を発行します。
- 「設計 CPD」のバナーから「法人加入者ログイン」で法人会員 ID・パスワードを入力します。
- 学習履歴の証明期間を入力し「検索」をクリックします。次に「学習履歴証明書発行」をクリックすると証明書が表示されます。学習履歴証明書は PDF で保存できます。

2) 社員会員・個人会員の学習履歴証明書

- 社員会員・個人会員の場合は、対象とする期間を指定して当該会員の学習履歴と取得した CPD ポイントの証明書を発行します。
- 「設計 CPD」のバナーから「個人加入者ログイン」で個人会員 ID・パスワードを入力します。
- 学習履歴の証明期間を入力し「検索」をクリックします。次に「学習履歴証明書発行」をクリックすると証明書が表示されます。学習履歴証明書は PDF で保存できます。

5. CPD ポイント

(1) 学習形態と CPD ポイント

CPD ポイントは、「1日の学習時間×ポイント数」を基準としています。また、CPD ポイントは講習会等を受講する場合、講習会等の講師を実施する場合、講習会等の講師の助手を務める場合など学習形態によって異なります。詳細については「別紙2 学習形態と CPD ポイント」をご確認ください。

(2) 推奨する CPD 単位

設計 CPD では、以下の CPD 単位を取得することを推奨しています。「必要な単位」は、現状の技術レベルを維持するために必要な CPD ポイントです。「望ましい単位」は、技術レベルの向上と技術領域の伸張に必要な CPD ポイントです。

表 推奨する CPD 単位

区分 \ 学習期間	1年間	2年間	5年間
必要な単位	20 ポイント	40 ポイント	100 ポイント
望ましい単位	30 ポイント	60 ポイント	150 ポイント

6. 費用

(1) 費用の種類

設計 CPD を利用するための費用は以下のとおりです。詳細については「別紙3 設計 CPD の費用」をご確認ください。

表 設計 CPD を利用するための費用

項目	概要
学習プログラムの認定	主催者の方が講習会等の学習プログラムを申請し、設計 CPD の認定（学習コード番号）を得るために掛かる手数料。
年会費	受講証明書や講師実施証明書をもとに、受講履歴（CPD ポイント）を申請したり、学習履歴証明書を発行したりするための会費。
技術者証の発行	設計 CPD の会員であることを示す技術者証を発行するための手数料。技術者証は、設計 CPD への入会時および技術者証の有効期限を過ぎた場合に発行。

(2) 費用の振込先

費用の振込先は以下のとおりです。領収書については事務簡素化のため発行致しませんのでご了承ください。また、お支払いに必要な手数料は利用者においてご負担ください。

表 費用の振込先

銀行・支店名	みずほ銀行 江戸川橋支店
預金種目	普通
口座番号	1 1 1 2 2 5 4
名義	一般社団法人 全測連設計CPD事務局 シャ)ゼンソクレンセツケイ CPD シムキョク

7. 個人情報保護

全測連は、業務上使用する個人情報について「個人情報の保護に関する法律」および全測連が定める「個人情報保護規程」に基づき適切な管理に努めています。設計 CPD で取得した個人情報は、設計 CPD に係るサービスの提供にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

8. その他

(1) 注意事項

- 講習会等が中止になった場合、入金された認定手数料は返金いたしません。なお、講習会等が延期になった場合は、入金された認定手数料を充当しますので新たな費用は発生しません。
- 学習履歴の申請（CPD ポイントの申請）には、講習会等の主催者が発行する受講証明書や講師実施証明書等が必要です。
- 1つの受講証明書について、複数の CPD 認定団体に CPD ポイントを申請することはできません。
- 測量系 CPD 協議会や建設系 CPD 協議会は、構成団体との連絡や調整を図ることを目的としており、協議会に加盟する認定団体によって CPD ポイントの基準が異なります。設計 CPD の学習プログラムで取得した CPD ポイントを設計 CPD 以外の団体に申請する場合は、各認定団体に確認をお願いいたします。

(2) 問い合わせ先

設計 CPD に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> URL（設計 CPD）
https://zensokuren.or.jp/cpd/ |
| <input type="checkbox"/> E-mail（設計 CPD 事務局）
cpd@zensokuren.or.jp |

対象とする学習分野

学習分野		内 容	分類 記号
大分類	小分類		
I 共通分野	倫理、経営	倫理、コンプライアンス、入札・契約、経営、環境保護、SDGs、働き方改革、ハラスメント等	A
	一般科学	数学、物理、化学、地理学、地質学、統計学、情報科学、気象学、水文学、その他の関連科目	B
II 専門技術分野	河川、砂防及び海岸・海洋	河川、砂防、地滑り、ダム、海岸、海洋、防災・減災、災害復旧等	C
	道路	道路、道路施設、防災・減災、災害復旧等	D
	鉄道	鉄道等における計画、施設、構造物等	E
	下水道	下水道計画、流域管理、下水処理、雨水管理、アセットマネジメント等	F
	都市及び地方計画、造園	国土計画、都市計画（土地利用、都市交通施設、公園緑地、市街地整備を含む）、地域計画、防災・減災等	H
	地質、土質及び基礎	土质地質、資源地質、斜面災害地質、環境地質、情報地質、地熱及び温泉、応用鉱物、古生物、土質調査、地盤、土構造、基礎及び山留め	I
	鋼構造及びコンクリート	橋梁、鋼構造、コンクリート構造及び複合構造の計画、設計、施工、維持管理等	J
	トンネル	トンネル、トンネル付帯設備等	K
	建設環境	建設事業における自然環境、生活環境の保全・創出、環境影響評価等	L
	電力土木	電源開発計画、電力開発施設、取放水及び水路構造物等	N
	上水道及び工業用水	上水道計画、工業用水計画、水源環境、水質管理、アセットマネジメント等	O
	測量	基準点測量、路線測量、河川測量、深淺測量、用地測量、空中写真測量、現地測量、三次元点群測量、応用測量、空間情報専門技術、地理情報標準、防災・減災、災害復旧等	Q
農業土木 (技術士／農業／農業農村工学)	かんがい排水、ほ場整備、農地・農道の整備、農地・農道の保全、干拓、防災・減災、災害復旧等	S	

II 専門技術分野	港湾及び空港	港湾計画、港湾施設、浚渫、空港計画、空港施設の調査・設計・施工・維持管理等	X1
	森林土木	治山、林道及び森林保全に関する調査・計画・設計・実施等の森林土木に関する事項	X2
	水産土木	漁港計画、漁港施設、沿岸漁場計画、漁場施設、漁場環境、養殖関連施設、飼育施設等	X3
	廃棄物	廃棄物・資源循環に係る調査、計画、収集運搬、中間処理、最終処分、運営管理、環境リスク制御、環境影響評価、その他廃棄物・資源循環	X4
	施工計画、施工設備及び積算	施工計画、施工管理、維持管理・更新、施工設備、積算及び建設マネジメント	X5
	機械	機械設計、材料強度・信頼性、機構ダイナミクス・制御、熱・動力エネルギー機器、流体機器	X6
	電気電子	電力・エネルギーシステム、電気応用、電子応用、情報通信、電気設備	X7
III 関連技術分野	情報技術	GIS、リモートセンシング、画像処理、コンピュータグラフィック、BIM/CIM、インフラ DX、ネットワークシステム、Web システム、情報セキュリティ等	T
	管理技術	プロジェクトマネジメント、品質管理、コスト管理、安全管理、工程管理、労務管理、リスク管理等	U
	施工技術	専門技術分野にかかる施工等	V

学習形態と CPD ポイント

- CPD ポイントは「1 ポイント/時間」を基本としています。1 日の学習時間に端数がある場合、45 分以上は切り上げ、45 分未満は切り捨てとなります。例えば、学習時間が 3 時間 45 分の場合は 4 ポイント、3 時間 40 分の場合は 3 ポイントとなります。
- 質疑応答は学習時間に含めますが、主催者等の挨拶、昼食時間、休憩時間、現場見学会などの移動時間は学習時間から除外します。

表 学習形態と CPD ポイント

学習形態		対象者	CPD ポイント	形態コード	
1	講習会	集合形式	受講者	1 ポイント/時間	101-01
		オンライン形式(ライブ配信、オンデマンド)	受講者	1 ポイント/時間	101-02
		ハイブリッド形式(集合形式+オンライン)	受講者	1 ポイント/時間	101-03
2	技術指導 (講習会、研修会、実習会など)	講師		3 ポイント/時間	102-01
		講演者		3 ポイント/時間	102-02
		パネラー		3 ポイント/時間	102-03
		助手		1 ポイント/時間	102-04
3	技術研究発表	口頭・ポスター発表		2 ポイント/件	103-01
4	論文 (原著論文)	筆頭著者 (査読付)		5 ポイント/件	104-01
		共著者		2 ポイント/件	104-02
5	技術報告・研究速報・解説・論説	筆頭著者 (査読)		3 ポイント/件	104-03
		共著者		1 ポイント/件	104-04
6	技術図書	単著者		10 ポイント/件	105-01
		共著者		5 ポイント/件	105-02
		分担著者		2 ポイント/件	105-03
7	委員会活動 (全測連、全測連の会員、測量系 CPD 協議会・建設系 CPD 協議会に加盟する団体、行政機関が主催する技術に係る委員会)	委員長		2 ポイント/時間	106-01
		委員・幹事		1 ポイント/時間	106-02

設計 CPD の費用

(1) 学習プログラムの認定

主催者の方が講習会等の学習プログラムを申請し、設計 CPD の認定（学習コード番号）を得るために掛かる手数料です。

表 学習プログラムの認定手数料

項目	主催者の区分	手数料(内税)	備考
主催者の申請		無料	
講習会の申請	全測連の地区協議会	無料	
	官公庁	無料	
	全測連の構成会員	3,000 円/件	
	非会員	10,000 円/件	

*1 講習会等が中止になった場合、入金された講習会費用は返金いたしませんのでご了承ください。

*2 講習会等が延期になった場合、すでに入金された費用を充当しますので新たな費用は発生しません。なお、変更日時等については設計 CPD 事務局までご連絡ください。

(2) 年会費

受講証明書や講師実施証明書をもとに受講履歴（CPD ポイント）を申請したり、学習履歴証明書を発行したりするサービスを利用するための会費です。

表 年会費

種類	会員区分	年会費（不課税）	備考
法人会員	全測連の構成会員	10,000 円/年	学習履歴証明書の発行は無料です。
	非会員	50,000 円/年	
社員会員 個人会員	全測連の構成会員	3,000 円/年	CPD ポイントの申請および学習履歴証明書の発行は無料です。
	非会員	10,000 円/年	

(3) 技術者証の発行

設計 CPD の会員であることを示す技術者証を発行するための手数料です。技術者証は、設計 CPD への入会時（社員会員、個人会員）および技術者証の有効期限を過ぎた場合に発行します。

表 技術者証の発行手数料

項目	会員区分	手数料(内税)	備考
入会時	全測連の構成会員	2,000 円	入会時に発行します。
	非会員	4,000 円	
再発行	全測連の構成会員	2,000 円	有効期限（5年間）を過ぎた場合や紛失時に再発行します。
	非会員	4,000 円	

(様式1)

受講証明書

受講者名 ○ ○ ○ ○ 殿

上記の者は、一般社団法人○○○○○○○○○○○○○○○○が主催した下記講習会を受講したことを証する。

記

学習プログラム名	20XX年度○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
主催者名	一般社団法人○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(設計CPD)

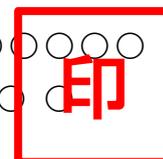
受講日	20XX年 XX月 XX日
学習コード番号	XX-XXXXXX-X-XXXXX-KT00XXXX
CPDポイント	Xポイント

(測量CPD)

受講日	20XX年 XX月 XX日
学習コード番号	XX-XXXXXX-XXXXX-XXX
CPDポイント	Xポイント

20XX年 XX月 XX日

一般社団法人○○○○○○○○○○○○○○○○
会長 ○ ○ ○ ○





一般社団法人 全国測量設計業協会連合会
設計CPD 学習履歴証明書 (法人単位)

以下の法人に所属する方が設計CPDに於ける学習履歴を取得したことをここに証します。

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会
全測連設計CPD事務局



発行日 : 2024年 05月 01日
対象期間 : 2019年 04月 01日 ~ 2024年 03月 31日
法人名 : 一般社団法人 全国測量設計業協会連合会
住所 : 〒162-0801
東京都新宿区山吹町11番地1 測量年金会館8F
連絡先 : tel: 03-3235-7271 fax: 03-3235-5120

No.	加入者番号	氏名	取得単位
1	CXXXXXXXX	全測連 一郎	2 point
2	CXXXXXXXX	全測連 太郎	34 point
3	CXXXXXXXX	全測連 花子	4 point

設計CPD 合計取得単位 40 point

学習履歴詳細

【CXXXXXXX】 全測連 一郎

【対象期間】 2019-04-01 ~ 2024-03-31

1/1

No	実施日	認定番号 *1	学習プログラム名称	ポイント
1	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○○○○○○○○映像研修会	2.0
			合 計	2.0

学習履歴詳細

【CXXXXXXX】 全測連 太郎

【対象期間】 2019-04-01 ~ 2024-03-31

1/1

No	実施日	認定番号 *1	学習プログラム名称	ポイント
1	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○研修会	3.0
2	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○講習会	3.0
3	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○研修会 (中級編)	3.0
4	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○研修会 (初級編)	3.0
5	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (中級編) 研修会	3.0
6	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○講習会	2.0
7	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○ (初級~中級編) 研修会	3.0
8	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○講習会	2.0
9	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○実例研修	3.0
10	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○研修会	3.0
11	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○研修	3.0
12	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○研修会	3.0
合 計				34.0

*1 認定番号:
 県コード 実施年月 学習分野 形態コード 識別ID
 xx - yymmdd - x - xxxxx - TPxxxxxx

学習履歴詳細

【CXXXXXXX】全測連 花子

【対象期間】2019-04-01 ~ 2024-03-31

1/1

No	実施日	認定番号 *1	学習プログラム名称	ポイント
1	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○○○○○○○○技術講習会 (WEB)	4.0
合 計				4.0

*1 認定番号:

県コード 実施年月 学習分野 形態コード 識別ID
 xx - yymmdd - x - xxxxx - TPxxxxxx

学習履歴詳細

【CXXXXXXX】全測連 太郎

【対象期間】2019-04-01 ~ 2024-03-31

1/1

No	実施日	認定番号 *1	学習プログラム名称	ポイント
1	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○研修会	3.0
2	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○講習会	3.0
3	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○研修会 (中級編)	3.0
4	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○研修会 (初級編)	3.0
5	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (中級編) 研修会	3.0
6	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○講習会	2.0
7	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○ (初級~中級編) 研修会	3.0
8	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○講習会	2.0
9	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○実例研修	3.0
10	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○研修会	3.0
11	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○○○研修	3.0
12	XXXX-XX-XX	XX-XXXX-X-XXXXX-XXXXXXXXXX	○○○○○○○○○研修会	3.0
合 計				34.0

*1 認定番号:
 県コード 実施年月 学習分野 形態コード 識別ID
 xx - yymmdd - x - xxxxx - TPxxxxxx

設計 CPD ガイドライン

2010年 6月 第1版

2017年10月 第2版

2020年 7月 第3版

2023年12月 第3版（インボイス制度への対応）

2024年 6月 第4版

2024年 7月 第4.1版（「設計 CPD の全体像」の変更）

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 11-1 測量年金会館 8F

Tel 03-3235-7271

E-mail cpd@zensokuren.or.jp
